

桜の開花予想を検証してみました

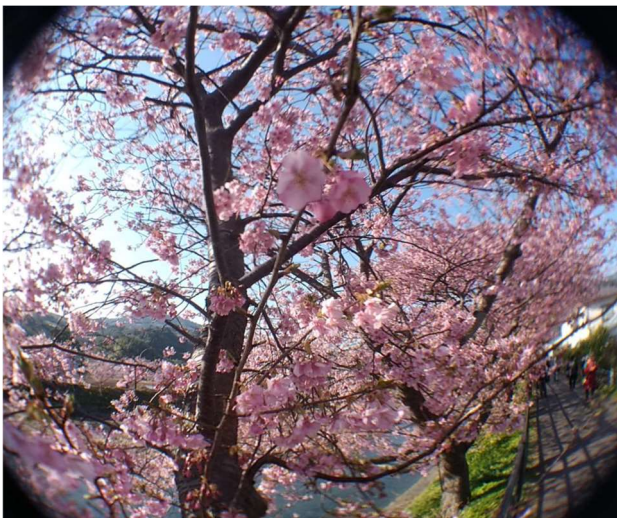
2021年3月16日

今年の桜の開花は3月14日でした。暖かな日差しの中、東京の桜の標本木である靖国神社の桜が5輪(以上)開花し、気象庁職員により桜の開花が宣せられました。先日ご紹介した3月4日時点での桜の開花予想を、その後の気温データも代入して検証してみました。

先日の予想は以下のようでした。

計算式の概要	去年の予想日	去年の開花日	今年の予想日
①2月1日を基準日とし日平均気温の合計が400を超えた日	3月16日	3月14日	3月16日
②2月4日を基準日とし日平均気温の合計が360を超えた日	3月14日		3月14日
③2月1日を基準日とし日最高気温の合計が600を超えた日	3月15日		3月15日
④魔法式 $\exp(Ea*(T-Ts))/(R*T*Ts)$ の合計が23.8を超えた日	3月14日		3月15日

3月4日の時点で、②式の「2月4日を基準として日平均気温の合計が360を超える日」の予想が3月14日でした。③と④が3月15日、①が3月16日の予想でしたからまずまず的中ではないでしょうか？



魚眼レンズで撮影した今年の河津桜

3月4日時点では、以降の気温を、天気予報値を代入して予想していたわけですが、今となっては実際の気温がわかりますので、それを代入して計算し直しました。つまり検証してみたということです。結果は以下のようになりました。

①2月1日を基準日とし日平均気温の合計が400を超えた日 ⇒ 3月15日

②2月4日を基準日とし日平均気温の合計が360を超えた日 ⇒ 3月14日

③2月1日を基準日とし日最高気温の合計が600を超えた日 ⇒ 3月14日

④魔法式 $\exp(Ea*(T-Ts))/(R*T*Ts)$ の合計が23.8を超えた日 ⇒ 3月14日

なんと4式のうち3式が的中でした。ということは、これらのどの式を用いても、気温さえ正確に予測できればかなりの精度で開花日を予測できることを示しています。まあ、気温を正確に予測するのは簡単ではないので、結局開花の予測とは気温の正確な予測なのかもしれません。

今年はコロナのせいで、ゆっくりと花見もできないようですが、せめて心だけでも春のうららを楽しんでもらえたらと思います。